

友好都市「長野県駒ヶ根市」などより給水タンク車の派遣や

救済物資の提供をいただいています



東北地方太平洋沖地震・福島第一原子力発電所事故について

三月十一日午後二時四十六分頃、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0（地震観測開始後最大規模）の地震が発生しました。

当二本松市においては、針道地内で震度6強、金色・油井地内で震度6弱、小浜地内で震度5弱と大きな揺れを記録しました。

この地震により市内では、道路の地盤沈下や学校施設など公共施設の破損のほか、多くの民家において壁に亀裂が入ったり屋根瓦が落下するなど、大きな被害を被りました。

また、停電や断水などにより多くの市民の方が各地区の避難所に避難され、不自由な生活を余儀なくされました。

被災されました皆様にご心からお見舞い申し上げます。

地震に伴う福島第一原子力発電所事故は、市民の皆様の安心と安全を脅かし、市内の農産物の出荷制限、摂取制限などあらゆる面で市民生活に大きな打撃をもたらしており、一刻も早い最善の形での事態の収拾を願うとともに、市といたしましても出来る限りの対策を講じているところであります。なお、これらに関する情報については、市ホームページ等のほか、随時災害対策本部情報を発行して市民の皆様に情報提供を続けて参ります。

今回の災害により、本市においても燃料や食料品、生活物資などの物流が遮断され、市民の皆様が厳しい生活環境を強いられており、国・県をはじめあらゆる機関に対し、物資の安定供給を要請しています。

現在、市内の各施設には、浪江町をはじめ市外から多くの方々が避難されておりますが、避難所において炊き出しや避難者のお世話、資材の提供など各般にわたりご支援を頂いている地域の皆様や市民ボランティアの皆様、技術支援や物資提供を頂いている友好都市「長野県駒ヶ根市」をはじめ災害支援を頂いている全国の多くの団体・個人の皆様にご心から感謝を申し上げます。

市民の皆様の安心と安全の確保、一日も早い市民生活の安寧を取り戻すため全力を傾注して参りますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成二十三年三月二十四日

二本松市長 三保 恵一